

高齢者交通事故防止の取組みに 山口県環境生活部・藤田部長から御礼挨拶

～「反射材付き交通安全啓発チラシ」2千部を山口県に贈呈～

日本損害保険協会山口損保会(会長:清水 裕子・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 山口支店 支店長)は、11月15日(水)、清水会長が山口県庁を訪問して、山口県に「反射材付き交通安全啓発チラシ」を2千部贈呈しました。

清水会長から、「損保協会では、安心・安全な社会の実現のため、高齢者の交通事故防止を重点取組みの1つとして掲げ、積極的に推進している。反射材を靴やカバンに貼り付けていただき、少しでも交通事故が減少することを願っている。また、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する検討委員会」に出席して、自転車事故防止や被害者保護を目的とした条例制定に向けて議論を重ねている。安心して暮らせる地域社会を実現できるよう、力添えをさせていただきたい。」と挨拶がありました。

次いで、山口県環境生活部・藤田昭弘 部長から、「本年は、昨年と比べ、交通事故の発生件数が増加傾向にあるほか、交通事故の死者数に占める高齢者の割合も約5割と依然として高い状況が続いている。12月10日から始まる「年末年始の交通安全県民運動」の期間中に、高齢者をはじめ県民への提供に努めていきたい。」と挨拶がありました。

贈呈した反射材は、山口県内における高齢者への交通事故防止啓発活動に役立てられます。

当支部では、引き続き、山口県や関係先と連携を強化して、高齢者の交通事故防止をはじめとした交通事故防止に関する活動に取り組んでいきます。



藤田部長(左) 清水会長(右)



清水会長の挨拶



藤田部長の挨拶